

ホームシアター・ネクスト・ステージ Smart Home

コントロール

AV機器、PCなどの情報家電、照明、空調、床暖房、給湯器、シャッター、セキュリティカメラなど、家庭内の電化製品がすべてつながり、ホームコントロールシステムで制御。ボタンひとつで快適な環境を実現する



AV機器



照明・調光装置



給湯器



ロールスクリーン/シェード/カーテン



PC/情報家電



セキュリティカメラ

マルチモニター

あなたがiPadやiPod touchのアイコンをスイッチとします。テレビには湿度となった空気があなたは包み込まれます。AV機器、情報家電コントロールシステムで制御されることによって実現する、そんな快適なエコスタイル、インテリジェントライフについて、リビングシアターSCENEの加藤洋一氏が語ります。

談話/加藤洋一(NEXT SCENE)

映像が映り、照明はテレビ視聴に最適な照度となり、最適な温度と電、照明、空調など、家庭内の電化製品がすべてつながり、最適な暮らし、新しいライフスタイルが「スマートホーム」。この究極のやオートメーションなどを時代に先駆けて提案し続けてきたNEXT

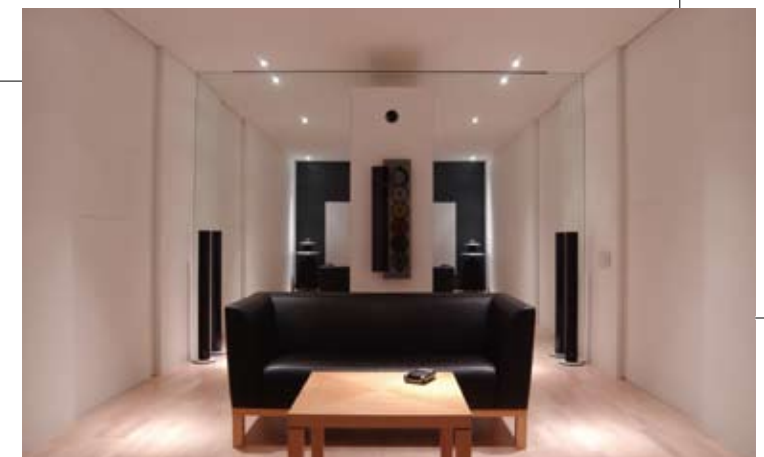
インタビュー構成/編集部



ホームコントロールシステム

マルチルーム

リビング、ダイニング、キッチン、ベッドルーム、個室、書斎、バスルーム、ガレージなど、家庭内の電化製品がすべてつながり、ホームコントロールシステムで統合。ボタンひとつでどこでも音楽と映像に包み込まれる



リビング



専用室



ベッドルーム



個室/書斎



ホームジム/フィットネス



本誌には、「リモコンのボタンを押すと、窓際のシェードが降り、照明が徐々に消え、スクリーンが降りて、プロジェクターが灯り、ブルーレイソフトが再生される」というような表現が度々出てきますが、これを住まい全体に適用し、さらにつなぎあわせる製品も、AV機器や照明に限定せず、空調、床暖房、セキュリティ、

「かんたん操作」と「どこでもアクセス」
タッチの簡単な操作で楽しみたい、結果として省エネにつながっていたという新たなライフスタイルです。
住宅というハコやハードではなく、ライフスタイルに重きを置くので、その微妙な感覚を出すために、わたしは敢えて「スマートハウス」ではなく「スマートホーム」と呼んでいます。

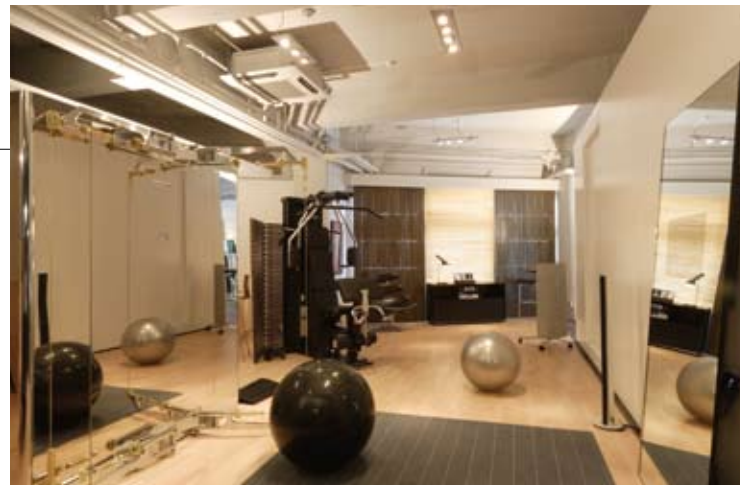
「スマートハウス」については、本誌でも何度か紹介されていますが、もともとは北米などで情報家電をつないでワンタッチでルームシーンを切り替える住宅を「スマートハウス」と呼んでいます。
20年近く前から、北米ではホームオートメーションが盛んで、クレストロンのようなホームコントロールシステムで情報家電を制御して、セキュリティから、照明の調整、さらには温度・湿度調整まで、自動的に、あるいはワンタッチで最適にする住まいが一般化してきました。
最近では少しニュアンスが変わってきていて、こうしたホームオートメーションをソーラーパネルや燃料電池などを組み合わせることで、家庭内でのエネルギーの最適化・省エネ化を図る住宅をスマートハウスと呼んでいます。
日本でも最近、温室効果ガスの削減を目指して、官民一体でスマートハウス化を推進する動きが出てきています。
わたしがここで提案したいのは、ホームエンターテインメントを、快適な環境で、ワン

「スマートハウス」から「スマートホーム」へ。



NEXT SCENE、NEXT代表
加藤洋一
philnumber:081
リビングシアターの提唱者として、また時代に先駆けて日本にホームコントロールシステムやカスタマイズリモコンを導入した先駆者として知られる

Hometheater Design : Smart Home



NEXTが新たに提案を開始したホームフィットネス。音楽や映像を楽しみながら汗を流すという新しいライフスタイル。GLAS LUCEの登場が、この新たなライフスタイルを生み出した

NEXT SCENEに設置されたマルチモニター。複数のサイズのモニターが、それぞれのサイズに相応しいコンテンツを映し出す

NEXT

愛知県名古屋市長手通2-13
☎052-861-6655

NEXT SCENE

東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F
☎03-3586-6141

給湯器、太陽電池にまで拡大することによって、スマートホームは実現します。

これらをつなぎあわせた上で、クレストロンなどのホームコントロールシステムで制御し、ATMのように誰でも使える画面をプログラミングした、iPhoneやiPadを端末にして、快適な操作を行うことがスマートホームの重要な要素のひとつです。

このシステムにネットワークプレーヤーやサーバーなどを組み合わせ、AVアンプのマルチゾーン機能を駆使すれば、家庭内どこにいても、iPhoneなどを端末に、音楽や映像に簡単にアクセスすることが出来ます。音楽や映像に包み込まれる生活が実現するというわけです。

うした仕組みを背景とするわけですが、ここまでですと、従来のいわゆる「スマートホーム」でしかありません。敢えて「スマートホーム」と呼ぶのは、これらのテクノロジーが上質な生活を実現できるからです。そして「スマートホーム」を実現するソリューションをわたしたちは手に入れました。

そのソリューションのひとつに、GLAS LUCEによるマルチモニターがあります。GLAS LUCEとは普段は鏡ですが、スイッチをオンすると鏡の向こうから映像が流れ出すモニターです。オフの時は鏡なので、生活空間にほとんどインパクトを与えません。このGLAS LUCEを大小のサイズを組み合わせて、ひとつの壁面にまとめあげたものが、マルチモニターです。たとえば、あなたのリビングを見まわしてみてください。テレビ、パソコン、フォトフ

レーム、セキュリティモニターなど、複数のモニターが置かれていて良いでしょう。これらのモニターをひとつの壁面にすっきりとまとめてしまったものがマルチモニターです。

映像にはエンターテイメントと情報のふたつの種類があります。エンターテイメントにも、映画、スポーツ、コンサート、アニメ、テレビ番組と、いろいろある。情報にもセキュリティ画像やネットのニュースなど、いろいろあります。これらのコンテンツにはそれぞれ対応するサイズがあるので、複数のモニターを使い分けていく必要がありますが、それを一か所にまとめあげたものがマルチモニターです。

スマートハウス化によって、サーバーに蓄積された各種の映像などが、これまで以上に飛び込んできます。各種映像を映し出すためのモニターが複数必要になってきます。マルチモニターを使えばデザイン的にも使用感としてもすっきりとするでしょう。必要のないモニターはオフしておけば鏡なのです。

少し話はそれますが、GLAS LUCEの登場によって、ホームエンターテイメントの幅が広がりました。いま、

NEXTで展示を始めたのが、フィットネスがホームエンターテイメントに入ってきた。音楽や映画を流しながら、フィットネスで運動をして汗を流す。これはGLAS LUCEがあるからこそ提案できる、新たなホームエンターテイメントです。要するに運動している時のフォームを鏡で確かめることができ、しかも目の前に映像を流すことが可能です。天井に埋め込まれたスピーカーから流れる音楽を楽しむことだってできます。GLAS LUCEがあるがゆえのホームエンターテイメントでしょう。

快適な環境づくりが重要な要素である

スマートホームの重要な構成要素としては、iPod Touchなどを使った「簡単操作」や、どこでも映像や音楽にアクセスできる「マルチゾーン」と並んで、「快適さ」が重要です。

快適な環境を実現する上で重要なソリューションとしては、ルートの調光装置、グラフィックアイがあげられます。最近では外光も含めてトータルで光を制御するシヴォアIQSというシステムも出てきています。

これからの快適さを実現するソリューションが、いま、わたしたちのまわりには増えてきています。

繰り返しますが、ホームエンターテイメントを、快適な環境で、簡単な操作で楽しみ、結果としてエコに結びつけていくこと。これがわたしの提案する「スマートホーム」です。まだ緒にいたばかりですが、これからのホームエンターテイメントや住まいのキーワードは、ホームシアターにとどまらず、スマートホームも射程に入れてみてはいかがでしょうか。

てきています。照明とロールスクリーンやカーテン、シェードなどを同時にコントロールすることができ、いつでも快適な光環境が実現可能です。もうひとつお薦めしたいのが、ピーエスから発売されているHR-Cという冷暖房機です。加熱・冷却した水を室内のラジエーターに循環させて、温度をコントロールするシステムをとっています。暖房では似たような商品がありますが、冷房にも対応している点がユニークです。こうした原理のため、空調につきもののノイズがほとんどなく、ふく射方式なので、風を受けることなく温度と湿度を常に快適に保てます。

このほかにも、近々ブラックルームに導入するサウンド

クリエーターという調音パネルも音に関する快適さを実現します。

これらの快適さを実現するソリューションが、いま、わたしたちのまわりには増えてきています。

繰り返しますが、ホームエンターテイメントを、快適な環境で、簡単な操作で楽しみ、結果としてエコに結びつけていくこと。これがわたしの提案する「スマートホーム」です。まだ緒にいたばかりですが、これからのホームエンターテイメントや住まいのキーワードは、ホームシアターにとどまらず、スマートホームも射程に入れてみてはいかがでしょうか。

Smart Homeを構成するソリューション

Smart Homeの重要な構成要素は、「カスタマイズリモコンによる簡単操作」「どこでもアクセス=マルチゾーン」「光・熱・風・音における快適な環境整備」。これらを実現するためのソリューションは膨大であるが、ここではその一部を紹介しよう!

どこでもアクセス

AVセンター

AVアンプだが、住まいのオーディオビジュアルの頭脳的な役割を最近担う。マルチゾーン機能を用いれば、住まいは音楽に包み込まれる



ネットワークプレーヤー

LINNのDSシリーズがよく知られているが、メディアレスの音楽プレーヤーならば、CDの入れ替えもなく、離れた場所からでも簡単にアクセス可能である



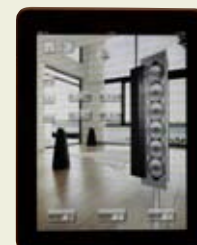
NAS

NASに蓄積されたコンテンツを、リビング、ダイニング・キッチン、寝室、個室、書斎、浴室など、住まいのさまざまな場所から自在にアクセスするためのケースが増えている

簡単操作

カスタマイズリモコン

少し前までは、マランツのRC9001やUEIのNevoがよく用いられていた。最近では、iPod TouchやiPhone、iPadをクレストロンのQM-RMCと組み合わせてカスタマイズリモコンとして使うケースが増えている



ホームコントロールシステム

スマートホームの頭脳を司る。日本ではクレストロンやAMXが知られている。最近では、iPod TouchやiPhone、iPadをカスタマイズリモコンとして使用するための、QM-RMCがインストーラーの間ではよく使われている



コンフォート / 快適な環境

シヴォアIQS

照明と自然光を連動させて、光全体をコントロールするソリューション。自然光はロールスクリーンやカーテンなどの昇降により制御する



GLAS LUCE

普段は鏡、スイッチをオンすると映像を流しだす、新時代の映像モニター。単体でも美しいが、できればマルチモニターで使うことをお薦めしたい。写真は大阪のCYMAでの展示の様子

ふく射式冷暖房機

NEXTのブラックルームで体感できる、ピーエスのふく射式冷暖房機、HR-C。ふく射式なので、エアコンと違い、ノイズはなく、風を起こさず、温度と湿度を常に一定に保つ

